

議 長
確認印

議会運営委員会会議録

1、開会の日時 閉 会	平成 29 年 12 月 18 日 13 : 10 平成 29 年 12 月 18 日 13 : 35
2、場 所	委員会室
3、出席した委員	割貝寿一、小林達信、鈴木安次、鈴木 茂、吉田克則
4、欠席した委員	なし
5、出席を要求した者	副議長
6、職務のため出席した者	議長、 事務局長、書記
7、付議事件	第 1 定例会の検証について
8、議事の経過	<p>小林達信副委員長が開会 割貝寿一委員長あいさつ 第 1 定例会の検証について 委員長：定例会の検証を行う。項目ごとではなく全般にわたって何かあるか。 鈴木茂委員：一般質問について高縁議員の資料提出請求は質問としては適当でない。青砥議員の質問通告時間が 15 分であったのに延長要望があった。時間の設定を考えるべき。 委員長：通告時間の延長はどの時間で認めるか。 (30 分以上の意見あり。) 委員長：議長判断ではあるが、30 分以上の質問通告時間があったものに対し延長を認めることにする。 小林委員：質問は通告時間に合わせてもらいたい。歯切れよく質問すれば通告時間内に終わると思う。適切な一般質問をしてもらいたい。 鈴木安次委員：今回は課長に答弁させるのではなく、町長答弁であったため長くなった部分もあるので仕方がないと思う。また、藤田議員の一般質問は町政を質すものではなく個人的なもの（町長に反論させるもの）となっている。 (あのような質問はあまり聞いたことがない旨の意見あり) 委員長：質問の本筋を再確認してもらおう。 小林委員：質問通告は議長の判断に任せるしかない。 吉田委員：定例会のアンケート結果で議会への要望に対してどうするか検討が必要と思う。 委員長：一人一人の感想なので、町民に対しての返答は難しいと思う。これまで議会だよりには掲載していたのか。 吉田委員：全員の感想ではなく、傍聴者一人に「ひとことインタビュー」として感想等を掲載している。 委員長：最近、質問に対する答弁がずれているように感じるがどうか。 鈴木茂委員：質問者が答弁について、そのまま終われば噛みあわない状況となる。</p>

吉田委員：アンケート結果では答弁者の発言内容はよくわかったが増えた。その意味では改善はされているのではないか。

委員長：今回は行政区長がアンケートに答えているので、このような回答だったのか。初めて傍聴する方は、「どちらともいえない」又は「よくわかった」とつけるかもしれない。

委員長：いつも9人程度の一般質問があり活気がある議会でありがたい。

小林委員：議会の進行が止まるような細かい質問は事前に通告していれば問題はないと思う。今後このような場合は議長が注意してほしい。

大縄議長：十分気を付ける。

吉田委員：補正予算の数字に対して質問したものであり、理解できない。

委員長：どちらの意見もあるが、議員として質問するのは特権で通告はする必要もないし、小林議員のように事前に通告することもいいと思う。

鈴木茂委員：今回の件は調べるのに時間がかかり過ぎであった。そんなに難しい質問ではなかったと思う。

委員長：総務課長がどう理解できるように説明するか迷ったのではないか。あとは議長の判断で運営してもらおうことでよいか。

(異議なし)

委員長：他に検証についてあるか。

(なし)

委員長：その他はあるか。

事務局長：4月以降の陳情についての取扱いはどうするか。

(特に必要ない)

委員長：アンケート結果の感想に出されている第二原発廃炉の陳情については、陳情ではなく請願書として提出するように連絡が来れば事務局で指導してはどうか。

(異議なし)

吉田委員：広報常任委員会で意見交換会を2月開催予定で、場所は防災庁舎3階会議室1か所、内容は議会活動報告、埴工高校の存続、厚生病院の医師確保等をテーマにすることにした。正式には全員協議会で話をしたい。

委員長：これで議事を終わる。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例の第27条の規定により署名する。

平成 年 月 日

議会運営委員長